

# ヤンゴン市における廃棄物発電

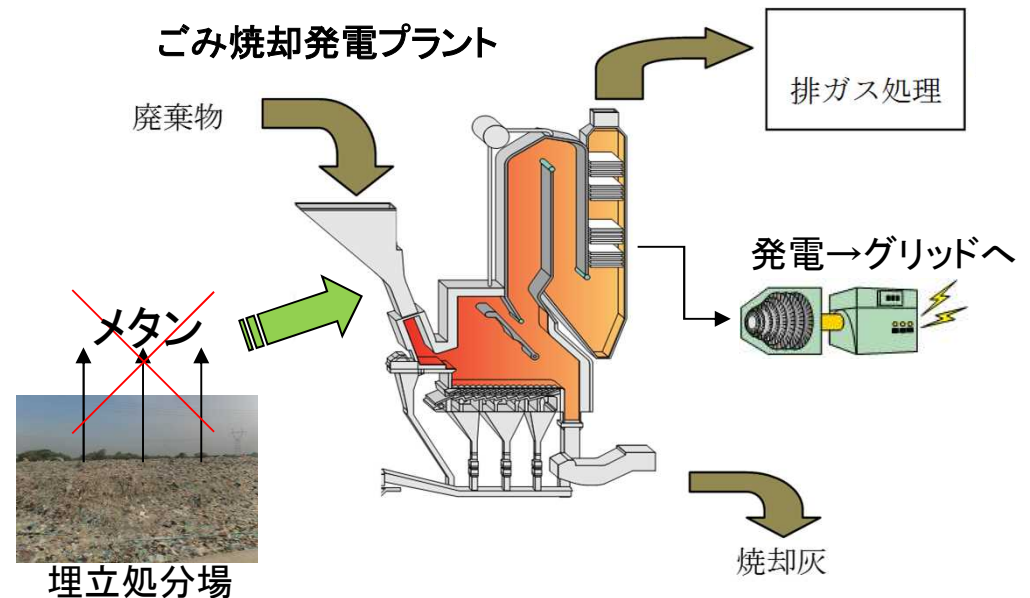
プロジェクト実施者: JFEエンジニアリング、ヤンゴン市

## プロジェクトの概要

ヤンゴン市において、現状では最終処分場に埋め立てられている都市ごみの一部(60t/日)を焼却し、その際に発生する熱を利用して発電を行う。発電した電力は、工場内で消費するとともに、余剰分を外部に供給する。

本事業により、廃棄物発電(0.7MW)による発電電力量に相当するCO<sub>2</sub>排出を削減し、また、埋立処分した場合のメタン排出を回避する(約5,000tCO<sub>2</sub>/年の削減効果)。

本事業は、「静脈産業の海外展開促進のための実現可能性調査等支援事業」及び「JCM設備補助事業」として採択されている。



## 事業実施サイト



ヤンゴン市北部35kmに位置するローガ湖付近  
(用地はヤンゴン市が保有)